

# ふくしま 夢の懸け橋ファンド ご案内

## ふくしま夢の懸け橋ファンド お問い合わせ窓口

福島信用金庫 融資部まで、まずはお気軽にお問い合わせ下さい。  
[TEL] 024-522-8161

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

[TEL] 019-606-3558  
[URL] <http://www.fvc.co.jp/>

### 【連携協力機関】

- 日本政策金融公庫 福島支店
- 福島県信用保証協会

## 起業・経営を応援するファンドです。

- ファンド運営者      フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
- 正式名称              ふくしま夢の懸け橋投資事業有限責任組合

本資料はふくしま夢の懸け橋ファンドの活動を広く皆様にご理解いただくために作成したものであり  
ファンド出資勧誘を行うための資料ではありません。

# ふくしま夢の懸け橋ファンドにご相談ください。

このような方  
いらっしゃいませんか？

起業後2~3年目  
事業が軌道に乗ったため  
資金調達をして  
更に事業拡大したい。

会社設立の際に  
設立新株を  
出資して欲しい。

技術を活用して  
商品開発を行いたい。  
技術開発に投資が必要。  
医療分野へ進出したい。

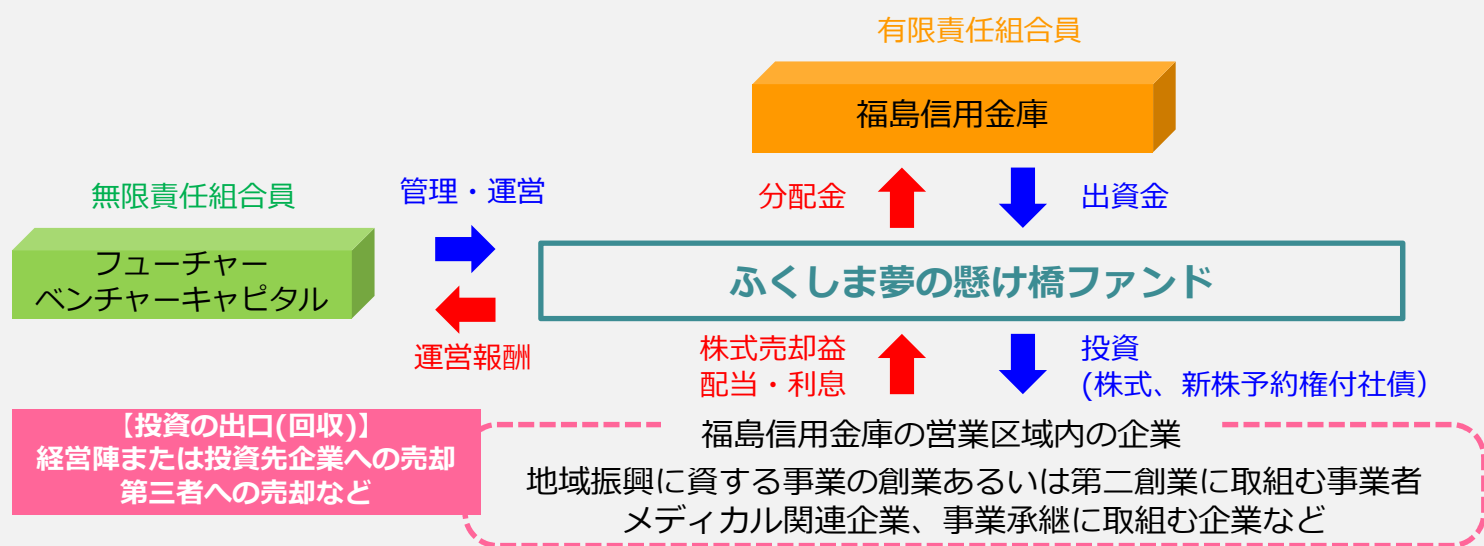
今まで個人事業だったが  
事業が軌道に乗ったので  
法人化したい。

数名でやってきたが  
今後は外部の専門家の  
アドバイスを受けながら  
事業を進めたい。

第二創業  
Uターン起業  
Iターン起業  
女性起業家  
若手起業家

## ■ふくしま夢の懸け橋ファンドとは？

福島信用金庫の営業区域内において起業や地域振興に取り組む企業を応援することを目的に福島信用金庫とフューチャーベンチャーキャピタル株式会社が出資、設立したファンドです。



## ■どのように支援してくれるの？

- 会社設立時や事業立ち上げ時などに、株式・社債などで資金供給を行います。
- 定期的に会議（経営会議など）を開催し、会社の将来について議論を行い、会社の経営について経営者と一緒に考えます。
- 投資実行から出口（回収）までの3~5年間は、事業計画達成に向け、経営全般から個別事項への助言まで様々な経営支援を行います。

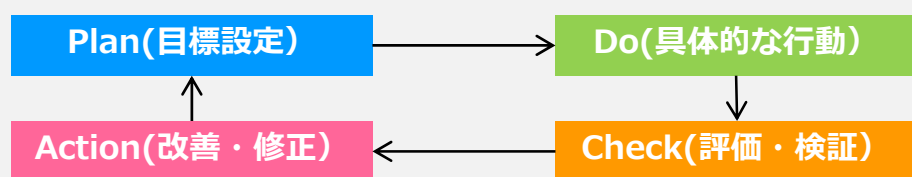
## ■定期的な会議では何をするの？

定期的な会議を通じPDCAサイクル(※)に基づく経営を実践し、会社にPDCAサイクルを根付かせます。具体的には、

- ①前月までの事業の状況、事業計画の進捗状況を確認し、計画との乖離原因を検証します。
- ②計画達成のために必要な改善点について、経営者とファンドと一緒に議論し、解決策を立案します。
- ③その他、経営者が抱えている問題について相談を受け、議論などにより解決を図ります。
- ④計画の修正や次月の行動計画を確認します。

★まず、投資審査の過程で事業計画を作成します。**事業計画無くしては正しい経営を行うことができません。**これまで事業計画を作成したことがない経営者でも、ファンドが作成支援やアドバイスを行いますのでご安心ください。

※PDCAサイクル・・・下記の4つの段階を繰り返すことによって事業計画の達成を目指すこと。



## ■どのような会社を対象？

- 投資対象地域 福島信用金庫の営業区域内に本社もしくは主要な拠点を置く企業に対し投資を行います。
- 投資対象企業
  - 創業投資：地域振興に資する事業の創業あるいは第二創業に取り組む事業者
  - イノベーション投資：メディカル関連企業、事業承継に取り組む企業
  - ・主として中小・中堅企業を投資対象とします。
  - ・資金の使途に制約はありませんので、人件費等幅広い使途に活用が可能です。
  - ・個人事業者は、事業を株式会社化した後に投資を行います。
  - ・株式上場を目指すことを投資の条件としていません。
- 投資金額
  - 創業投資：1社当たりの投資金額は500万円~1000万円
  - イノベーション投資：1社当たりの投資金額は1000万円~2000万円
  - ・投資金額は、資金ニーズや事業規模により変動します。
  - ・当ファンドは議決権の過半数（発行済株式の50%）以上の取得を想定していません。

## ■投資から出口(回収)までのイメージ

- ①投資審査、実行 経営者の意欲と事業の成長力が示される事業計画が投資審査において重要となります。審査時の必要書類：事業計画、決算書、月次試算表、登記簿謄本、定款、株主名簿、代表者経歴など
- ②経営支援 事業計画達成のための支援を行います。
- ③出口(回収) 経営関与については3年~5年の期間限定の関与となります。3年~5年の関与期間後、事業計画の達成状況や純資産を確認した上で当ファンドの持分を回収します。

【ファンド出資から回収まで】

